

品質と安全

OUR APPROACH

私たちは国内外のグループ会社17拠点でISO9001の認証を取得し、継続的に品質改善に取り組んでいます。安全面では、各生産拠点に安全衛生事務局を配し、CSR推進室がそのマネジメントのセンターとなり、本社と生産現場が一丸となって労働安全衛生活動に取り組んでいます。

また、私たちをサポートいただいている委託先の品質・安全に関する責任についても全うするため、委託先の自主性を尊重しつつ、品質パトロールや貸与設備の安全立会などを積極的に支援することで自社グループ生産拠点外での事故・トラブルの未然防止にも努めています。

これからも私たちはお客さまから一層信頼いただける企業を目指して、社会規範を遵守し、さらなる品質・安全性の向上に努めていきます。

主なSDGsとの対応関係



機械では補うことのできない、高品質を提供し続けるためのしくみづくりを進めています。

グローバル競争のなかで生き残っていくには、「製品品質」と「製品品質を担保する品質」という2つの品質を安定的に提供することが必要であり、特に高品質を継続的に担保していくのは難しいことです。品質問題はうまくいっているときには見えてきません。そのため事故の発生をどれだけ手前で留めることができるかのしくみづくりに注力しています。

安全は全てに優先する最重要事項。理想論ではなく、実効性のある取組みを徹底していきます。

東洋アルミグループにとって、安全はまさにCSRの一丁目一番地。発生した事故は原因を追及し、全事業所に水平展開して、対策の徹底を図っています。時間経過による対策の風化、また属人化によるリスクを防ぐために、IoTの活用なども含めて事故防止を徹底していきます。また新型コロナウイルスの発生を受け、BCPのあり方についても見直しを進めています。



執行役員
品質保証部担当

総谷 則夫



執行役員
CSR推進室担当

川口 実

2019年度の主な取組み

ルール規定の運用	■過去の問題に対する是正処置の運用状況についての調査を実施 ■検査データの改ざん防止システム構築
法規制・ガイドラインへの対応	■REACH規制など法規制の更新に対する対応
安全に関するマネジメント	■労働安全衛生マネジメントシステムに基づくリスクアセスメントや、KY活動による事故防止 ■各事業所における内部監査、また社長による安全パトロールを定期的実施

CSR活動アクションプラン 2019年度の成果

- 重大品質クレームの削減
→目標 重大品質クレームゼロ 実績 0件
- 休業災害、不休業災害、火気事故災害の削減
→目標 休業災害ゼロ 実績 0件
→目標 不休業災害ゼロ 実績 7件
→目標 火気事故災害ゼロ 実績 4件
→目標 極微災害半減(前年度比) 実績 2019 22件 / 2018 28件

※機器操作の失敗や設備不具合など、災害原因は様々ですが、特定の原因はありません。傾向として被災者は経験の浅い人が多かったことから、災害の本質的な原因追及と並行して、各事業所と協働し、安全教育の方法について改善していきます。

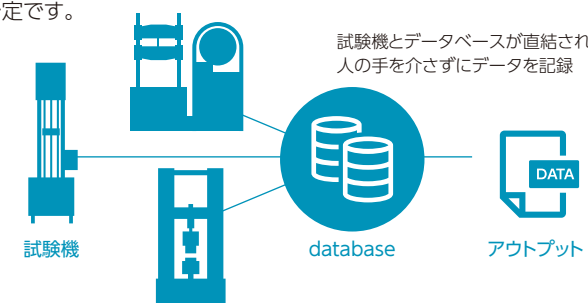
Practice case

CSR重要課題実践事例

case 01 重大品質クレームの削減

検査データの改ざん防止システム

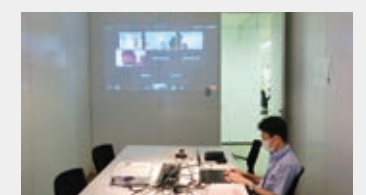
検査データの信頼性をより確かなものにしていくために、試験機と計測結果が直結され、人の手を介さずにデータが記録されるしくみを構築中です。2020年度中には全事業所において導入が完了する予定です。



Column

新型コロナウイルス感染症対応と、有事非常時の機能強化(BCM・BCPの整備)取組み

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、コロナ対策本部を立ち上げて情報収集・発信活動を開始すると共に、外部有識者の助言のもと、事業所毎にコロナ対応チェックリストにより対応体制を整えました。具体的な対策として、コーポレート部門を中心に在宅勤務を実施、水際対策として外部からの立ち入り制限や入門時の検温・消毒・マスク着用の徹底を図りました。また、換気強化など、3密を避ける感染防止対策を採っています。今後も、コロナウイルスを含む感染症や大地震・水害等の有事非常時に備え、使えない詳細なマニュアルづくりに精を出すよりも危機発生時に迅速に連携できるよう、グループ共通の対応時間軸(タイムライン)を定め、対応訓練の継続とそれにより見出された課題の改善に取り組みます。



リモートワークでの対策本部事務局打合せ